

市長退任あいさつ

岡谷市長 今井 竜五



このたび、9月28日の任期満了をもちまして市長の職を退任いたします。

私は、「岡谷市を、すべての人たちに活躍の場と生きがいがあり、そして産業に活力がある、たくましいまちにしたい」という強い想いから、市長選に立候補し「人、輝き、たくましいまち岡谷」の実現を目指すことを公約に掲げ、多くの市民の皆様にご支持をいただき、平成19年9月に第8代岡谷市長に就任し、以来、4期16年にわたり、市民起点による公平で公正な市政運営を基本姿勢として、本市の舵取り^{かじ}を担わせていただきました。

就任1期目は、前年に岡谷市に大きな被害をもたらした平成18年7月豪雨災害からの復旧・復興、また100年に一度と言われた経済危機リーマンショック

に端を発した世界同時不況による、深刻な景気低迷からの市内経済の立て直しなど、目の前にある重大な諸課題に迅速に対応いたしました。

また、2期目は、平成23年3月の東日本大震災をはじめとする大規模な自然災害を踏まえ、市民生活の安全・安心を支える基盤整備が急務であると判断し、岡谷市民病院や諏訪広域消防本部を併設した岡谷市消防庁舎のほか、諏訪湖周クリーンセンターの整備工事に着手するとともに、健康で生きがいを持って、また、このまちに誇りと愛着を持って暮らしていくために、岡谷美術考古館や岡谷蚕糸博物館シルクファクトおみや、岡谷市看護専門学校の新設整備のほか、子育て支援や高齢者福祉などのソフト面においても、その充実に向けた各種施策を積極果敢に推進いたしました。



令和5年6月 蚕糸公園リニューアルオープン



平成25年11月 岡谷美術考古館開館



平成26年4月 岡谷市看護専門学校開校



平成26年8月 岡谷蚕糸博物館開館



平成27年4月 諏訪広域消防本部岡谷市消防庁舎開署



平成27年10月 岡谷市民病院開院

そして3期目には、市内小中学校のすべての耐震化事業を完了するとともに、児童生徒の学力向上に向けた体制の整備を進めてまいりました。さらに、国全体が人口減少や少子高齢化という大きな課題に直面しているなか、市民一人ひとりが安全で安心して、健康で生きがいを持って生活を送り、将来のまちに多くの夢と希望を描くことのできる確かなまちづくりの推進に取り組んでまいりました。

4期目においては、新型コロナウイルス感染症から市民の命と健康と生活、そして、社会経済活動を守るための対応に努めるとともに、これまで市長として積み重ねてきた経験、実績、実現してきた多くの施策や事業の成果を基盤として、岡谷市に住み、働き、学び、訪れるすべての人々に活躍の場と生きがいがあり、生活に彩りと潤い、そして楽しみがあつてしあわせを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高い岡谷市を創り上げることに全身全霊を傾注してまいりました。

こうして様々な課題に正面から向き合い、多くの施策や事業を推進し、一定の成果を上げることができたのも、国や県等のご支援、市議会議員各位の建設的なご意見やご提言、そして何よりも市民の皆様のお力添えがあったからこそであります。多くの市民の皆様様に市政へのご理解、ご協力を賜りましたことに、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

今後は、一市民として、微力ではありますが岡谷市発展のために尽くしてまいりたいと考えております。結びに、市民の皆様からこれまで賜りましたご厚情に深く感謝を申し上げますとともに、岡谷市の更なる発展と市民の皆様が健康で活躍されますことを心から祈念いたします。退任のあいさついたします。長い間、本当にありがとうございました。



平成28年12月 諏訪湖周クリーンセンター稼働



令和2年12月 イルフ西堀保育園開園

〈特集〉 子育て支援



おかや 子育て

岡谷市では、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、結婚から、出産、子育て、教育まで、切れ目ない子育て支援に力を入れ取り組んでいます。今回は、その一部について紹介します。

出産

結婚

安心して妊娠から出産までを迎えられるよう支援します

出会いから結婚新生活を応援します

●夫婦の妊活を応援

新しい家族の誕生を待つ夫婦が不妊治療や不育症治療を受けられるよう妊活を支えます。



補助制度あり



詳しくは▲

●出会いの場を演出

結婚に前向きな男女に対して、結婚セミナーや出会いの場となる婚活イベントを開催します。



詳しくは▲

本紙掲載記事
詳しくは▶P28へ

●出産や子育てについて学べる場

すこやかな出産を迎え、子育てを楽しめるよう、出産前に赤ちゃんの抱き方や沐浴、産むための体づくりなどを学べるパパママ教室を開催しています。



詳しい日程は▶P16-17
くらしのカレンダーへ

詳しくは▶



●結婚新生活をサポート

若い世代の結婚に対する経済的不安を解消するため、新婚世帯を応援します。



補助制度あり



詳しくは▲

●産後悩んでいるお母さんをサポート

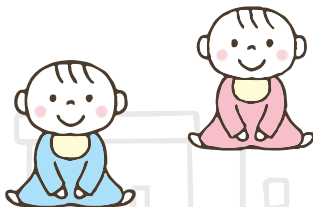
出産したお母さんと赤ちゃんが、病院や助産院に滞在して、心身のケアや育児のサポートを受けることができます。

補助制度あり



詳しくは▲

家庭



教育

魅力と活力のある学校づくり
に取り組んでいます

子育て

心と体がすこやかに成長するよう
子育てを支えます

●地域に根ざしたふるさと学習

子どもたちに郷土に対する誇りや愛着心を育んでもらえるよう、岡谷蚕糸博物館や各学校にて、製糸について学習する場を設けています。

郷土
学習



●未来につながる英語授業

小中学校に配置している外国語指導助手(ALT)を2名増員して、7名体制とし、児童、生徒のさらなる英語力向上に向けて、英語教育の充実を図っています。



●地域人材を活用した学習支援

中学2年生を対象に、苦手教科の解消、学習の習慣づけ、学習意欲の高揚を図るため、教員OBなどの地域人材を活用し、放課後の学習を支援しています。



●子どもの成長を確認する乳幼児健診・教室

子どもの成長に合わせて、健診や教室などを開催しています。育児上の心配や不安なことを相談できる育児相談も行っています。



詳しい日程は▶P16-17
くらしのカレンダーへ

●親子で楽しく遊べ、交流できる「こどものくに」

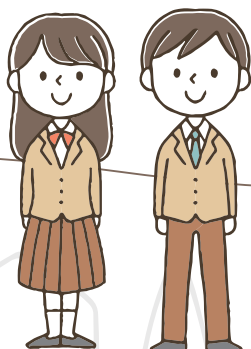
天候に左右されず、親子で安心して遊ぶことができ、保護者同士の交流や子育て相談などができます。さらに、こどものくにを利用するとオカヤペイのポイントが付与されます。



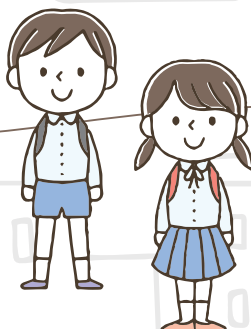
●食を通じて岡谷市の魅力を体験

保育園児たちが五感全部を使って岡谷の「食」の魅力を体感し、幼少期から郷土への愛着を深められるよう、市になじみの深いトウモロコシの収穫や味噌づくりを、地元の生産者と触れ合いながら体験する場を設けています。

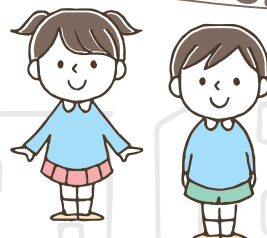
郷土
学習



小学校・中学校



保育園・幼稚園・こども園



「子どもの育ち」の過程にはさまざまなことが起こります。初めての子育てではなおさら一人では解決できないことも多いでしょう。そんなときには、保健師や保育士、相談員などが寄り添います。年齢や状況に応じた6つの相談場所を紹介します。一人で悩まず、気軽に相談してください。

子育て相談

その悩み、一緒に考えませんか？

1 乳幼児健診等

保健師・栄養士・歯科衛生士が、定期的に行われる乳幼児健診・育児相談・離乳食教室などの機会に、赤ちゃんの身体の計測から離乳食、発達で不安なこと、お母さんの心のケアなど、**それぞれの状況に合わせて専門のスタッフが相談にのり、必要があれば適する場所に紹介します。**子どもの成長とともに、**継続して同じ保健師に相談できる体制を整えています。**

〈主な相談の場〉 詳しい日程は▶P16-17くらしのカレンダーへ
■育児相談(予約制)
■健診: 3~4か月児健診、9~10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診
■教室: 2歳児にこにこ教室、離乳食教室 詳しくは▶



小さなことでも気兼ねなく相談してください。電話やメールなど好きな方法でどうぞ!



保健師 石橋百合子

月齢に応じて変わっていく「食」の悩みに対して、お子さん一人ひとりに合わせた栄養プランを提案します。「食」は毎日のことなので、気軽に相談してください。



管理栄養士 山岡理恵

体重の伸びが気になっていたので計測に来ました。保健師さんと話せて安心しました。

伊積瞳さん・耀仁くん(5か月)



2 子育て支援館0123 こどものくに

赤ちゃんから年少入園前の子どもと家族が、楽しく遊べる場所です。子どもを遊ばせながら、**子育ての心配ごとを保育士・看護師・栄養士に相談することができます。**専門スタッフによる食・歯の相談日も設けています。予約制の子育て相談では、心理相談員が子育ての悩みを聞き保護者の心のケアを行います。リフレッシュできる講座や親子で楽しめる講座もあります。

利用者登録 200円/年間(年度更新)
開館時間 午前9時30分~午後5時30分
休館日 毎月第2火曜日
問合せ TEL 24-8403



詳しくは▶

親子で安心して楽しく遊びながら、子育ての悩みなど、スタッフに気軽に何でも話してください。たくさん話して気持ちをすっきりさせてくださいね。スタッフが笑顔でお待ちしています。



館長・保育士 田中美晴

育児休業中です。スタッフのみなさんに温かく迎えていただけるので、ほぼ毎日来ています。来館した保護者の方たちと子育ての情報交換をしています。パパ友もできました!



宮坂樹さん・恵麻ちゃん(2歳)

3 子育て支援センター ぱんだぐみ・ちゅーりっぷぐみ

赤ちゃんから年少入園前の子どもと、その保護者、これから出産する妊婦さんが、**予約不要・料金無料で遊んだり交流できる場所です。**市内4か所の保育園で行っていますが、住んでいる地区に関係なくどの園でも利用できます。専任の保育士がいますので安心して遊べます。保育士が子育ての相談にも応じます。

場所 あやめ保育園・みなと保育園・川岸保育園・ひまわり保育園※
 ※時間が異なります。要問合せ TEL27-2816

時間 月~金 午前9時~午後2時
持ち物 着替え・おむつ・飲み物



詳しくは▶

初めてでもお母さん同士が仲良くなって楽しくおしゃべりしています。アットホームな雰囲気なので何でも聞いてくださいね。子どもたちもしっかり遊ぶので生活リズムも作りやすいと思います。入園前の「ならし」にもなりますよ。



ぱんだぐみ専任保育士(あやめ保育園) 河部智子

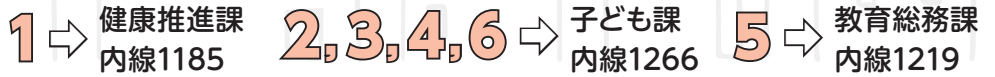
先生や他のお母さんに子育ての不安なことを聞いてもらえて、心が軽くなって前向きになれます!



笠原藍さん・凧くん(3歳)・權くん(1歳)

問合せ

下記見出しの番号に応じて
それぞれの担当課へ
お問い合わせください



4 子ども発達支援センター

ことばや心と体の成長・発達に心配のある乳幼児が保護者と一緒に通園し、遊びや生活の体験、友だちとの交流を通して、楽しみながらできることを増やし、**一人ひとりが自分のペースで育つ場所**です。親子と一緒に成長できるよう専門のスタッフがお手伝いします。直接相談することもできますので、**相談を希望する場合は事前に電話にてお問い合わせください。**

場所 イルフ西堀保育園2階(堀ノ内1-6-4)
時間 月～金
午前8時30分～午後5時15分
問合せ TEL 22-1307



詳しくは▶

〈専門スタッフ〉

- センター長(保育士) : 1名
- 作業療法士 : 1名
- 保育士 : 2名
- 育成支援
コーディネーター : 1名
- 言語聴覚士 : 4名

心と体の成長のお手伝いをさせていただくとともに、日常生活の手順など、お子さんの成長にあわせたアドバイスをさせていただきます。
(作業療法士)

お子さんの良いところを伸ばし、安心して子育てができるよう専門スタッフがお手伝いします。子育てで心配や不安がある方は、ご相談ください。



センター長・保育士
両角むつみ

5 子ども総合相談センター

幼稚園・保育園・小中学校での教育に関わるあらゆることの相談窓口です。子ども本人からでも、保護者からでも相談できます。例えば…**長期欠席や登園登校しぶり、いじめ、友だち・人間関係、学習、家庭生活や家庭環境、子育ての悩み、言葉や体の発達、気になる発達特性、特別支援学級・学校への入学相談**など。

必要があれば、園・学校とも連携して、子どもにとって何が最適なのかを一緒に考えていきます。

長年子どもたちと関わっていた経験のある、わたしたち相談員がお話を聞きます。**秘密は必ず守ります。**
一人で悩まず、わたしたちに話してください。待っています。

子ども総合相談センター 市役所2階 内線1232

- ・一般教育相談：午前8時30分～午後5時(月～金)

子ども総合相談センター(分室) 諏訪湖ハイツ TEL 24-2206

- ・一般教育相談：午前8時30分～午後4時30分(月～金)
- ・専門カウンセラー(臨床心理士)教育相談：50分間(予約制)

自立支援(フレンドリー教室) 諏訪湖ハイツ TEL 24-2206

午前8時30分～午後4時30分(月～金)



センター長・相談員
林秀昭



相談員
小口高弘



相談員
宮澤志郎



詳しくは▶

6 子ども家庭総合支援拠点

岡谷市では、支援が必要な子どもや家庭について、子ども家庭支援員が対応していますが、**今年度から子育て支援において重要な要素である「心理支援活動」に力を入れています。**その第一歩として、新たに0歳から18歳までの全ての子どもと家庭を対象として、心理面のケアを専門とした**「心理担当支援員」**を配置しました。

幼稚園・保育園・学校などの枠組みにとらわれず、心理的なケアを必要とする子どもや家庭に向き合うとともに、子育て支援に関わる環境へのコンサルテーションや支援者支援も含め、子育て支援の充実を図っています。

〈心理担当支援員の主な業務〉

- ①子ども発達支援センター・ことばの教室へのコンサルテーション・スーパービジョン
- ②子育て支援を必要とする子ども・家庭へのカウンセリング・子育て相談
- ③幼・保・こども園での発達支援研修会

今年から新たに配置となりました。従来の枠組みにとらわれず広く活動できる立場なので、視野を広げ、子育て支援における真に有用なサポートとは何かを模索しながら、子どもたちやご家庭の思いを尊重し、寄り添った支援になるよう取り組んでいきます。



心理担当支援員
中澤晃